



わたなべ まさとし
渡邊 正俊 議員

放射線

不安払拭の取り組みを

町長／継続して取り組む

渡邊

町民の放射線による健康への影響や不安の軽減に関する調査、対策を行ってきていますが、これまでの取り組みをどのように総括するのか伺います。

また、若者の移住定住を促進していますが、新たな住民になろうとする人に対し、放射線の現状を理解していただくためにどのような対策を進めていきますか。

町長

本年3月に「広野町放射線健康対策委員会」から広野町における放射線に関するこれまでの取り組みについて総括する答申を受けてのこととしています。

町民が抱く放射線に関する放射線健康対策委員会において、各種調査結果の分析、評価情報発信を行い、放射線に関する各種不安の解消に取り組んでいきます。

生活再建

減免措置等の今後は

町長／引き続き強く訴える

渡邊

医療保険、介護保険の保険料、窓口負担の減免措置について、令和3年度も国の支援が継続することになりました。

今後は避難指示が解除された地域での見直しが実施されることと思いますが、今後はどのようなものになると思われますか。

町長

今後も国、県に対し、国民健康被保険者や後期高齢者医療被保険者の減免措置は、生活再建に必要不可欠な施策であることを引き続き強く訴えていきます。

箒平地区

存続に向けた取り組みは

町長／風景資源保全地区に

渡邊

箒平地区は、高齢者が多い限界集落であり、荒廃が懸念されています。

箒平地区の存続に向けてどのように取り組んでいますか。

町長

令和3年2月19日に箒平地区の存続を願う町民有志が団体を組織され、町に対し箒平地区の里山文化の保存継



景色の良い箒平地区

承を求める要望書の提出がありました。

町は、必要な消耗品や燃料の支援、当地区を「広野町風景資源保全地区」として位置づけ、広野町箒平地区風景資源保全活動委員会を組織し、町民参加型の保全活動を推進していきます。

県に対し、箒平地区への重要な連絡道路である県道上戸渡広野線の局部改良事業の早期完成を引き続き要望していきます。

全域に設置助成を

町長／範囲拡大前向きに検討

渡邊

箒平地区を対象に消火器を設置した家庭に助成金を交付することになっていますが、今日までの交付件数を伺います。

また、町内全域の家庭を対象とする考えはありますか。

町長

平成8年8月19日の補助金交付要綱施行以来、交付実績はありません。

町内全域の家庭を対象とした補助対象範囲の拡大については、前向きに検討します。

施政方針

今後の財政計画は

町長／不交付団体の状況継続

小磯

施政方針は向こう1年間の基本的施策や政治方針について方向性を示すものであり、町民生活に直結するものです。

そこで以下伺います。

①町勢振興計画と整合性のとれた基本方針について伺います。

②令和3年度重点政策について伺います。

③教育全般について伺います。

④令和3年度財政計画について伺います。

町長

①「安心して暮らし続けられるまち」「災害に強いまちづくり」「身近な犯罪防止、不安解消による安全・安心なまちづくり」「子どもたちを安心して育てることのできるまち」「子どもたちの個性を伸ばし、たくましく生きる力と豊かな人間性を育むまち」「だれもが明るいきいきと暮らせるまち」「互いに支えあい、安心して暮らせるまち」「福祉のまちづくり」「双葉郡復興の拠点となる環境と共生した利便性の高いまち」「安全・安心して快適に利用できる都市環境の整ったまち」「社会の要請に応え活気と活力のあるまち」「地域の特色が光るにぎわいのあるまち」「顔の見えるネットワークや

コミュニティがいきいきとしたまち」「すべての町民が輝くまち」「いきいきとした地域主体のまちづくり」の実現に向けて各種事業を進めていきます。

との連携を見据えながら、広野町立学校独自の魅力ある教育の創出に取り組めます。

小学校高学年教科担任制の導入、人権教育開発事業の継続、一人1台タブレットにAIを活用した教育ソフトを導入し、授業および家庭学習において活用して、町独自にICT支援員を配置し、本町の教育実態に即したICTの活用に取り組めます。

語学力やコミュニケーション能力を育成する環境の充実を図るため、外国語指導助手を活用した英語教育に加え、中学校において異文化交流、国際理解や国際協定の学びを目的とした東日本国際大学との交流事業（イングリッシュ・デイ）を新たに開始し、小中学校児童生徒合同でのブリティッシュヒルズ異文化交流宿泊体験事業を継続して実施します。

中学校において、地域の人的・物的資源を活用し、映像制作を通して「ふるさと広野町」

の良さを再発見し、伝統と文化を見つめ直すことで、広野町の未来と地域の復興に貢献できる子どもたちの育成を目的とした「ふるさと創造学」に取り組めます。

④歳入面では、自主財源である町税が前年度当初予算と比較して5729万円の減となっています。町民税については、法人の増収を見込んでいますが、固定資産税については、広野火力発電所内の償却資産の減価償却などにより減収見込みのため、前年度当初予算と比較7465万円減額しています。

一方、歳出面では、復興計画最後の年であることを見据え、復興・創生事業への取り組みを最優先とし、限られた財源の重点的・優先的な配分に努めました。歳出予算の総額は、前年度と比較して5億294万円増額となりましたが、主な増額の理由としては、投資的な経費である広野駅周辺整備事業、ふくしま森林再生事業などの普通建設事業費、サッカー国際人育成プログラム支援事業などの維持補修費、駅東側整備事業や東町産業団地整備事業による土地開発事業特別会計への繰出金などが増額しています。



こいそ としお
小磯 利雄 議員

③新学習指導要領および「第二次広野町教育ビジョン」に基づく教育活動を展開し、ふたば未来学園中高一貫校

の良さを再発見し、伝統と文化を見つめ直すことで、広野町の未来と地域の復興に貢献できる子どもたちの育成を目的とした「ふるさと創造学」に取り組めます。

④歳入面では、自主財源である町税が前年度当初予算と比較して5729万円の減となっています。町民税については、法人の増収を見込んでいますが、固定資産税については、広野火力発電所内の償却資産の減価償却などにより減収見込みのため、前年度当初予算と比較7465万円減額しています。

一方、歳出面では、復興計画最後の年であることを見据え、復興・創生事業への取り組みを最優先とし、限られた財源の重点的・優先的な配分に努めました。歳出予算の総額は、前年度と比較して5億294万円増額となりましたが、主な増額の理由としては、投資的な経費である広野駅周辺整備事業、ふくしま森林再生事業などの普通建設事業費、サッカー国際人育成プログラム支援事業などの維持補修費、駅東側整備事業や東町産業団地整備事業による土地開発事業特別会計への繰出金などが増額しています。

④歳入面では、自主財源である町税が前年度当初予算と比較して5729万円の減となっています。町民税については、法人の増収を見込んでいますが、固定資産税については、広野火力発電所内の償却資産の減価償却などにより減収見込みのため、前年度当初予算と比較7465万円減額しています。